

新健康協会では、新しい健康法を伝える「健康新聞」を毎月発行し、人間の持つ治癒力や適応力をお伝えしています。肉体的、精神的なことでお悩みの方もぜひ御一読ください。

# 健康新聞

発行所  
発行人



新健康協会

〒813-0001

福岡市東区唐原6-7-1

TEL:092-661-1531

https://shinkenko.jp



次の御論文は、明主様(当協会の教祖)が、昭和二十四年に発表されたものであります。世界平和と心身共に健全な人間作りを目指す活動に御理解を頂ければ幸甚です。

## 真理の具現

そもそも宗教の真の目的は何であるかといえば、いうまでもなく真理の具現である。然らば、真理とは何ぞやという事であるが、真理とは勿論自然そのままの姿をいうのであって、これは何人も否定し得ないところである。東から太陽が出て西に沈むという事も、人間は生まれれば必ず死ぬという事、これは伝説のいわゆる生者必滅、会者定離という事であり、人間は空気を呼吸し食物を食う事によって生を営んでいるという事も、勿論真理である。こんな分かり切った事を言わなければならない程、人類社会の現状は出鱈目になっているからである。

右の理によって、現在社会万般にわたる混乱、闘争、無秩序、罪悪等の忌まわしき事象をみれば、人類が幸福になるよりも不幸になる事の方が多分にある事は否み得まい。とすればその原因が那邊にありやを考えると、私のみるところでは、一切の根本が真理に遠ざかっているからであって、それがあまりにも明らかである。ただ真理に遠ざかっているが、それに気がつかないだけである。しかしながら、それは何がためであろうかをここに検討してみるが、実は現代人

は真理そのものさえも分からなくなっている。その第一は、生活問題の窮迫に頭脳は真理を考える余裕などなくなっているからであろう。もともと、肝心な宗教でさえ今日まで真理そのものがはつきりしなかった。説こうとしても、ともすれば非真理に陥ってしまう事が多かったのである。もし真理を真に説き得たとしたら、人類社会は現在のごとき深刻な苦悩の様相は呈しなかつたであろう。むしろ天国的楽土がある程度実現していたかも知れないと思う。然るに天の時来つて、ここに神の大愛の発現となり、私を通して真理を説くのみか、如実に真理の具現を遂行さる事になったのである。故に私が説くところの諸々の言説は、真理そのものを万人に最も分かりやすく宣示する以上、読む人は何物にも捉わらる事なく虚心坦懐熟読玩味すれば、髣髴として真理は頭脳に浮かぶであろう。故に私はここに真理を最も簡単に説論してみよう。

最も手近なところから説いてみるが、人間が病気をずるという事は真理にはずれた点があるからであり、それを治し得ない医学はこれまた真理にはずれているからである。政治が悪い、思想が悪いという事も、犯罪が増える、金詰まり、インフレ、デフレで苦しむという事も、真理にはずれているからである。もし真理にはずれていないとすれば、正しい事は人間の希望通りにゆくはずで、そのように人間社会を神が造られているのである。その結果理想的善美な社会が生まれ、人間は歓喜幸福の生活者となり得るのである。これ即ち私が唱える地上天国の真相である。

このような訳であるから、私の言説には随分異なった点があると思うであろうが、実はいささかも異なつては

いない。至極あたりまえの事である。異なつたと思うのは、非真理の眼で見るからである。私の説が異説と思えば思う程、社会の現実が異説のためである。故に私の説を異説と思えず肯定する人こそ、真理を体得した人といえよう。

神は人間に対し無限の自由を与えている。これが真理である。人間以外の動植物には自由は与えられていない。ここに人間の尊さがある。然らば人間の自由とは何であるかという、人間向上すれば神となり、墮落すれば獣となるという両極端のその中間の位置に存在しているのが人間である。この理を推進する時こういう事になる。それは人間のやり方次第で、この世はいとも楽しい天国世界ともなり、その反対であればいとも惨憺たる地獄世界となる。これが真理である。とすれば人間は右のいずれを選ぶべきか、考えるまでもなく先天性の悪魔でない限り、前者を欲するのは当然であろう。

右のごとくでありとすれば、前者の天国世界の実現こそ人類究極の目的であり、その目的達成のためにこそ真理の具現あるのみである。そうして、それが宗教本来の使命である以上、私は常に筆に口に真理を教え、尚且つ真理の実行者として、日もこれ足らず努力活動しつつあるのである。

## 浄霊体験記

2ページ  
3ページ

- 一日九錠の薬がゼロすつかり元気な体に…
- 何があっても安心して過ごせる…
- 長年の苦しみが消え健康で幸せな日々へ…



台湾

口腔内の腫瘍

《人生の大転換》

何があっても  
安心して過ごせる…

台北支部  
廖 喬如 (62)



二〇二二年十一月頃のことです。突然歯が痛み出したので、最初は身体の熱が原因かな…と思っていました。しかし、一向に改善しなかったため、近所のクリニックで検査を受けました。歯の痛みの直接の原因は見つからなかったものの、顎のX線を撮ると、口腔内に腫瘍があることが判明しました。その腫瘍が成長して顎の骨を圧迫し、骨の厚さが卵の殻ほどに薄くなっていたのです。

その後、台北の大きな病院をいくつか回り、歯痛の原因は依然として不明のままでしたが、腫瘍についてはどこでも同じく「すぐに検査と手術が必要」と言われましたので、手術をすることにしました。

最初の手術で腫瘍の組織を採取して検査した結果、良性の神経腫でした。しかし腫瘍が顎骨を圧迫しているため、腫瘍の内部物を排出させる目的で造口を作り（体外への出口を人工的に作る）、医師は「もしかすると腫瘍が少しずつ消えていく可能性もある。もし消えなければ二度目の手術が必要」と説明しました。

ただ、この最初の手術だけでも顔はひどく腫れ上がりました。加えて、歯痛の原因は相変わらず分からないまま、手術による炎症で顔の腫れと熱感が続いていました。

変化に驚いた…

二〇二三年二月十四日、偶然出会った新健康協会台北支部の会員さんである杜明傑さんが、私が苦しんでいる様子を見て、熱心に浄霊をしてくれました。さらに台北支部にも連れて行ってくれました。それ以来、平日はほぼ毎日支部で浄霊を受けるようになりました。

支部に伺った初日、支部の先生が、浄霊の原理や薬毒について、明確に教えてくださいました。私はそのお話を聞いた翌日から、痛み止めの薬の服用をやめました。

そして、毎日浄霊を続ける中で、一週間後には薬を飲まなくても痛みは耐えられる程度になり、手術による腫れと熱感も徐々に和らぎ、さらには原因不明だった歯痛までもが少しずつ消え

ていったのです。この変化には本当に驚きました。

手術から二カ月後、医師は「顎の骨が崩れる危険がある」と非常に強く手術を勧めてきました。しかし、私はこの一カ月間、浄霊を受ける中で、身体が良い方向へ変化していることに自信を持つようになり、「手術のほかに、自分には浄霊という選択肢がある」と思うようになり、二〇二三年三月二十二日、五十九歳で入会しました。

その後も手術の催促がありました。二年前余りの間に歯痛は良くなり、神経腫の悩みもなくなりましたので、結局私は手術を受けず、浄霊に専念する道を選びました。さらに、この期間に十年以上飲み続けていた血圧の薬もやめることが出来、アレルギー体質まで改善しました。

それからは何があっても薬に頼らず、浄霊をしつかり受けて、食事を摂るようになっています。不思議なことに、体調が悪い時でも、ご飯（お米）が私に大きなエネルギーを与えてくれ、排毒もスムーズになるのです。

私は明主様に心から感謝をしています。私が体験した歯痛と口腔の神経腫は、私が明主様の世界へ導かれるための「素晴らしいきっかけ」だったのだ…と感じています。

今では、日々の浄霊に加え、悩みや挫折に直面したとき、明主様がまるでそばで見守ってくくださる父のように、私の心を寛容にしてくださり、穏やかに受け止められるよう導いてくださっています。

この人生の段階で自分自身をより深く知り、心を磨く機会を頂けたことに感謝し、明主様の導きのもと、これからは幸福への道を歩んでいきたいと思っています。（台湾・新北市）

ネパール

偏頭痛・高熱

《奇跡の体験》

長年の苦しみが消え  
健康で幸せな日々へ…

ビルターモ出張所  
ハルカ・ツモロク・リンブ (56)



今から約二十数年前、私と妻はフィジムという田舎に住んでいました。その頃から妻は偏頭痛と精神的な恐怖症、足のしびれ感、足の裏がヒリヒリするような感じがありました。フィジムでもいろいろな治療を試しましたが、全然良くならないので、他の治療もやってみました。しかし治療するとその時は良くなったように感じましたが、しばらくするとまた前と同じようになりました。こういう状態を繰り返していました。

それから数年が過ぎた二〇二二年、私が四十二歳の時、私達は田舎から都市に移動してブーダ・サンチという所に住むようになりました。そこに移動しても私の妻の病気は良くなり、こ

れからどうしたらいいだろうかと悩んでいました。そのような時、近所の方が浄霊のことを教えてくれました。私は少しでも妻の状態が良くなるのであればと思い、ビルターモ出張所で浄霊を受けるように勧めました。

浄霊を毎日のように受ける度に、妻の病気は少しずつ良くなっていききました。これは不思議でしたが、事実でした。長年苦しんだ症状がなくなり、本当に嬉しく、妻と喜びました。このことに感動し、喜んだ妻は二〇一三年に入会し、その時から私も妻と一緒に支部へ行くようになりました。そして支部に行つて浄霊を受けるうちに、浄霊を信用するようになり、私も二〇一四年七月十六日、四十四歳で入会しました。

高熱も一週間で元気に…

二〇一九年、四十九歳の時、私は突然高熱が出ました。体全体が痛く、食欲もなく、特に頭が痛みましたので、一週間、毎日ビルターモ出張所へ行きました。これも体の中にある毒素をハナヤタンで排泄するためと思い浄霊を受けていますと、三日目から食欲が出てきました。それからだんだんと良くなって、一週間で元気になりました。

初めは浄霊を信じるのが出来ませんでした。初めは浄霊を信じて、妻の状態、また自分自身の体験から、浄霊は本当に有難いものだということが分かりました。

今後この素晴らしい浄霊を多くの方に伝えていきたいと思っています。誠に有難うございました。ビルターモ出張所でお世話をしてくださった方々にも感謝御礼申し上げます。（ネパール・ビルターモ）

美の世界

美によって人間の情操を高め、生活を豊かにし、人生を楽しく意義あるものにする... ことができます。

歌川広重「近江八景」之内

《粟津晴嵐》

場所にはいろんな出来事が刻まれている。例えば旅行先の観光地で、今、目には見えない二百年、あるいは八百年前にその場所... 多くの人が経験したことがあるでしょう。

本作は歌川広重「近江八景」におさめられている《粟津晴嵐》です。近江八景とは、中国の景勝地である瀟湘の八通りの景観を... した「瀟湘八景」になぞらえて、琵琶湖周辺の水の情景を八つ選んだもので、江戸初期に関白・近衛信尹が詠んだ和歌がきっかけ... になったと言われています。

雲はらふ 嵐につれて 百船も 千船も浪の 粟津に寄する

というもの。瀟湘八景では「晴嵐」が中国語で山裾にたつ春霞を指すため、「山市晴嵐」として晴れた日、山中の町にただよう霞の美しい風景が描かれますが、ここでは、絵も和歌も、次々と帆船が浜辺に到着する様子が描かれていきます。そして、この和歌によって、ここには雲を払うほどの風が吹いていることが伝えられ、「晴嵐」が文字通り晴れた日の山風となつていくことが分かります。

粟津という地は、源平の争いの中で活躍した武將、木曾義仲が討たれた場所とされています。義仲はたった三年で源氏初めての征夷大将軍に任命されるまでの武勲をあげながら、その直後に源頼朝が送った軍勢に敗北するという悲劇的な最期を迎えました。「晴嵐」の地に選ばれた粟津の伝承を考えると、湖畔の松林を吹き抜ける風はただ晴れやかなだけでなく、この世が常ならぬことをも感じさせてくれるような気がします。

解説 松田愛子



清明会館(美術館)のInstagramははじめました。



清明会館

「ゆめのうき世に」後期展

期間... 令和8年1月6日(火)〜5月17日(日)

※清明会館お問い合わせ ☎0992(066)1-1533

新健康協会総本部

福岡市東区唐原6丁目7-1 TEL(092)661-1531(代)

Table listing various branches of the New Health Association across different prefectures (Hokkaido, Tohoku, Kanto, etc.) with their respective addresses and phone numbers.

健康新聞についてのお問い合わせ ☎092(066)1-1533